

公共事業における工事・業務 実績情報システムについて

2013.4.24

(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)
コリンズテクリスセンター

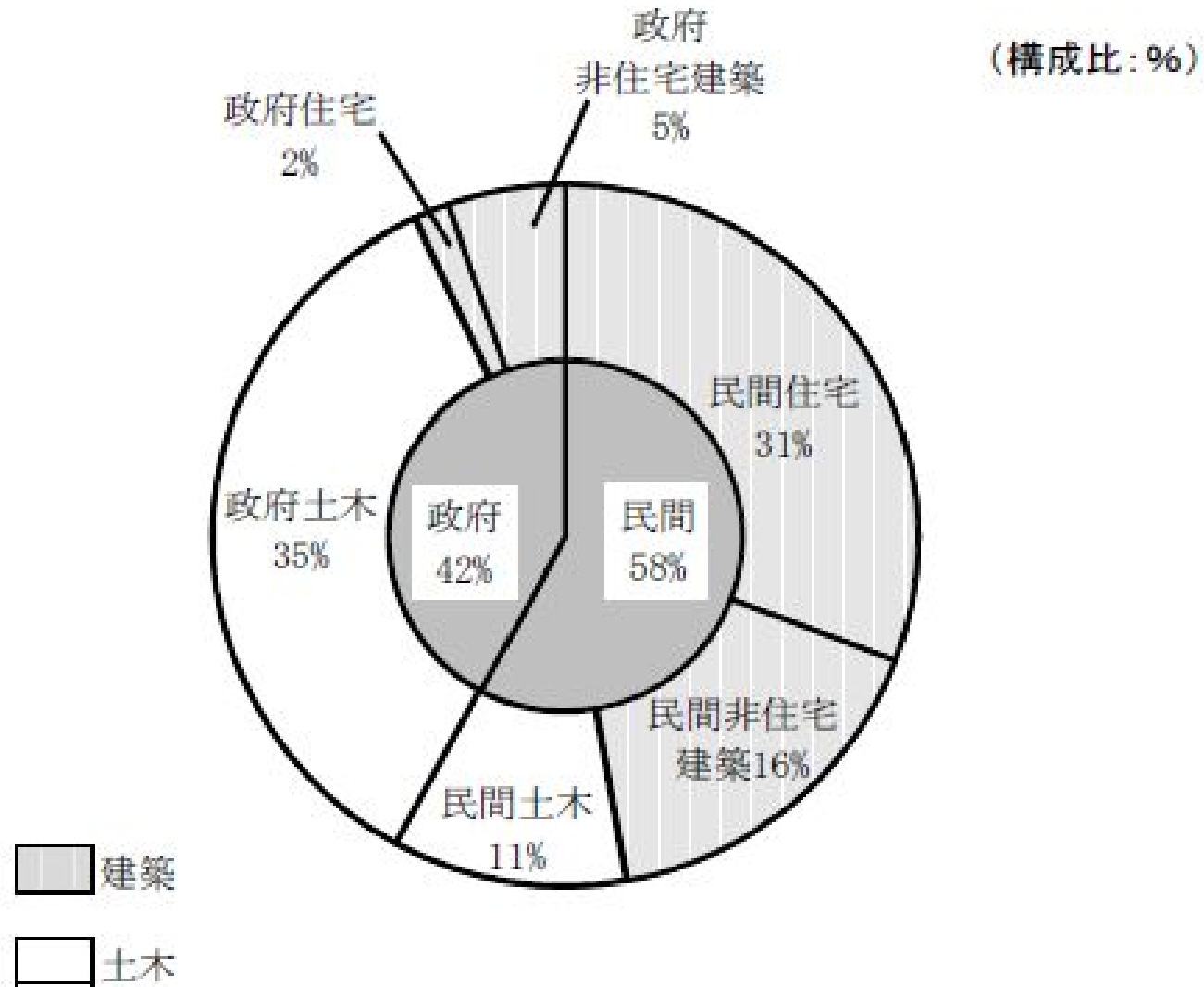
工事・業務実績情報システム (コリンズ・テクリス)とは

- 公共事業の発注に当たって、客観的なデータに基づく公平かつ適正な企業選定を行うための支援ツール

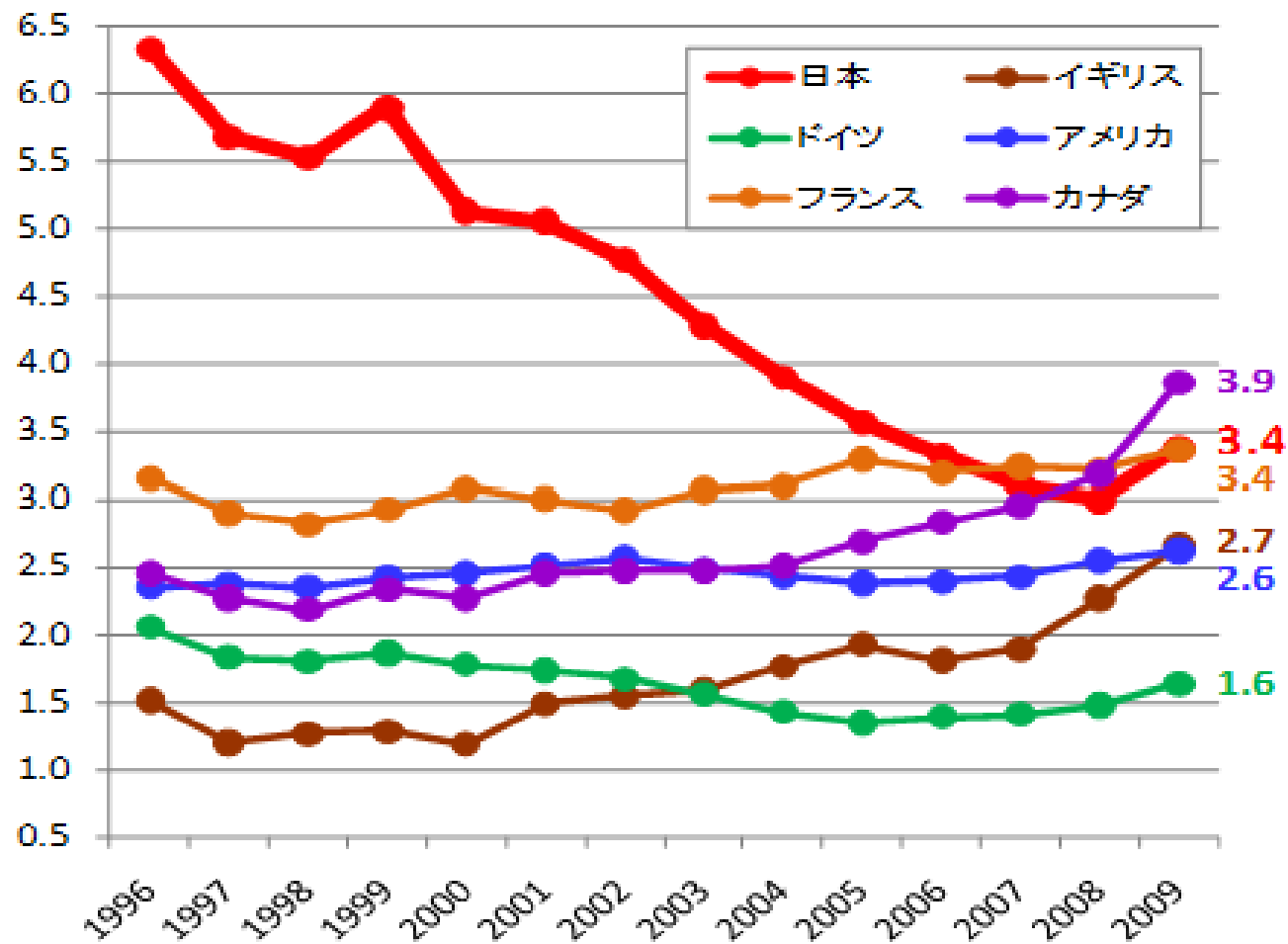
企業の技術力の適正な評価に活用

- 工事实績、業務実績のデータベースシステム
 - 工事实績情報システム(CORINS)
 - Construction Records Information Systems
 - 業務実績情報システム(TECRIS)
 - Technical Consulting Records Information Systems

図8 平成24年度建設投資の構成(名目値)
日本の2012年度建設投資の総額45兆円



建設投資 / GDPの国際比較



明治22年 会計法

予定価格の制限のもとで
一般競争入札の原則

M33勅令 指名競争入札導入 →

T10 会計法改正 →

S36 会計法改正 →

H6 大規模工事に一般競争
入札導入 →

H17 公共工事品確法により
総合評価方式による
一般競争入札への転換 →

契約方式と入札の種類

官公庁が行う契約には、大きく分けて次の3つの方式があります。

(1) 一般競争契約

不特定多数の者を競争させ、最も有利な条件を提示した者を契約の相手方とする契約方式です。この競争は通常、入札によって行われます。それが一般競争入札(略して、一般入札)です。官公庁の契約は、この一般競争契約が原則となっています。

(2) 指名競争契約

特定の者を指名して競争させ、最も有利な条件を提示した者を契約の相手方とする契約方式です。

この競争も通常、入札によって行われます。それが指名競争入札(略して、指名入札)です。一般競争を行うことに不都合がある場合に、この指名競争契約が行われます。

(3) 随意契約

入札を行わずに契約の相手方を選定する契約方式です。略して随契。

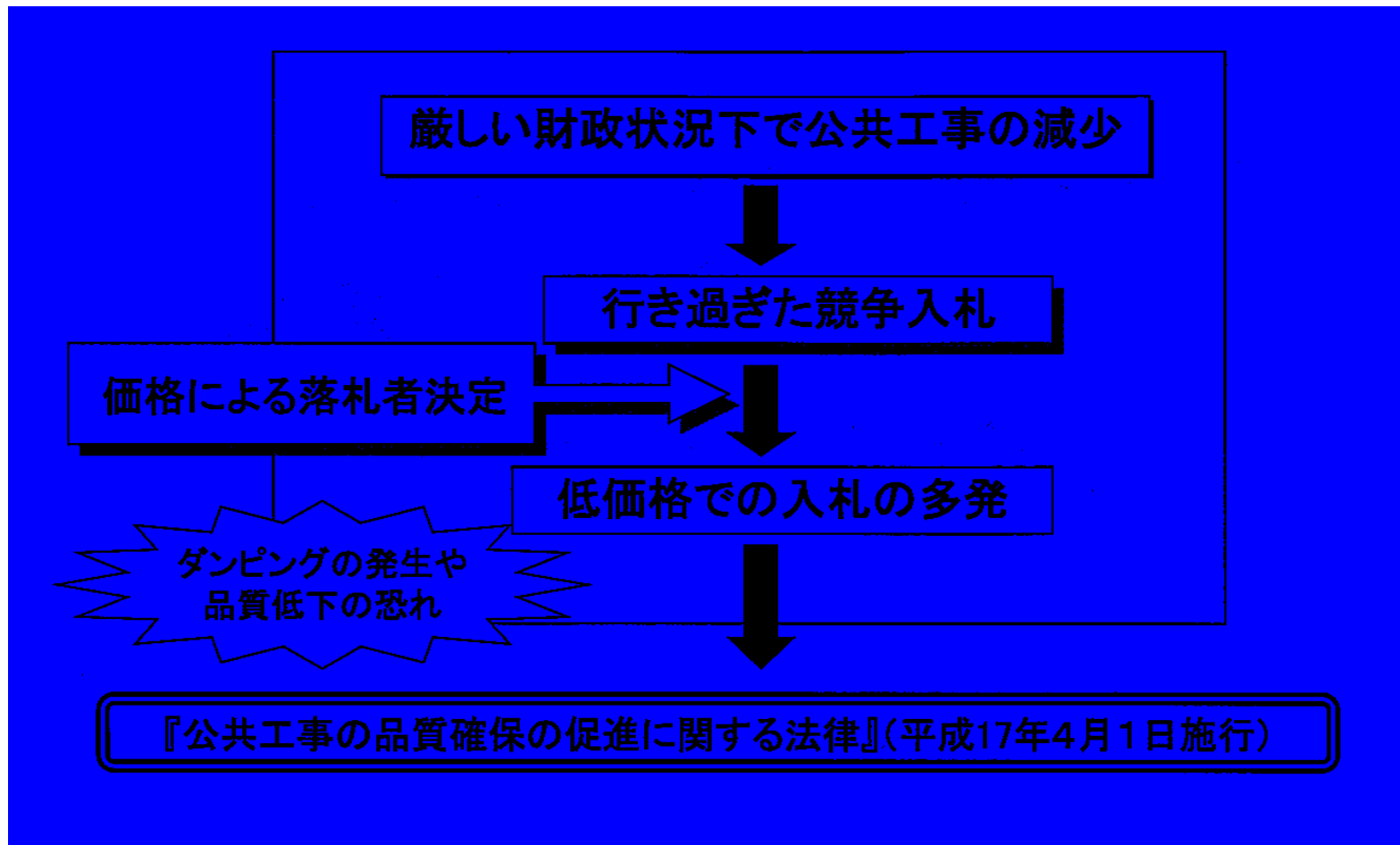
特別な事情により、一般競争契約や指名競争契約によりがたい場合などに行われます。

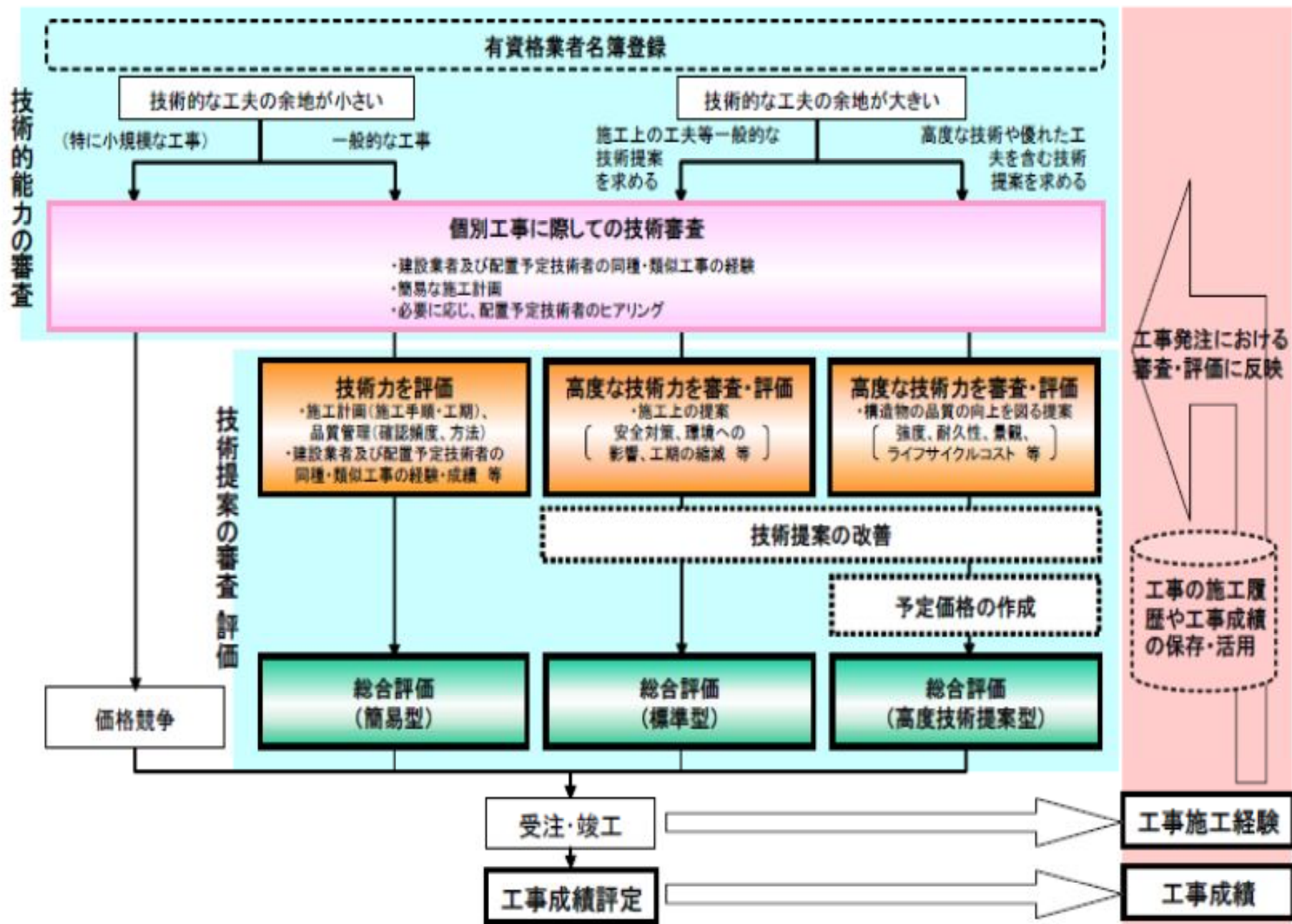
一般的には複数の者から見積書を徴収して比較検討することから、見積合わせと呼ばれます。特に、特定の1者のみと随意契約を結ぶ場合は、一者随契(一社随契)と呼ばれます。

国土交通省直轄工事における落札率の推移

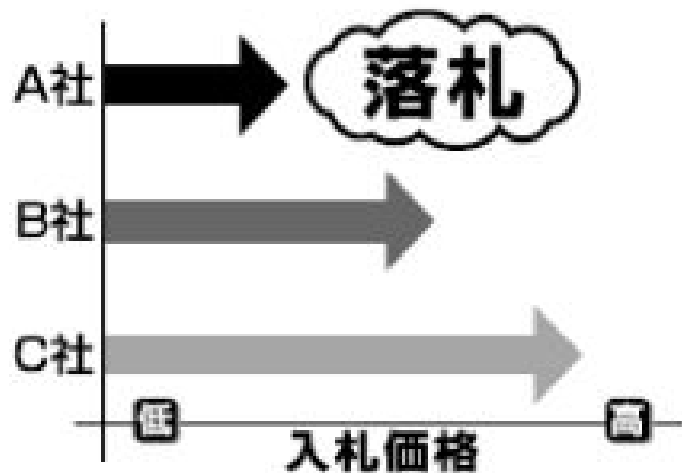


(注) 対象は、地方整備局(港湾空港関係を除く)、官庁営繕部、国土技術政策総合研究所
出所：国土交通省資料





これまでの価格のみの競争

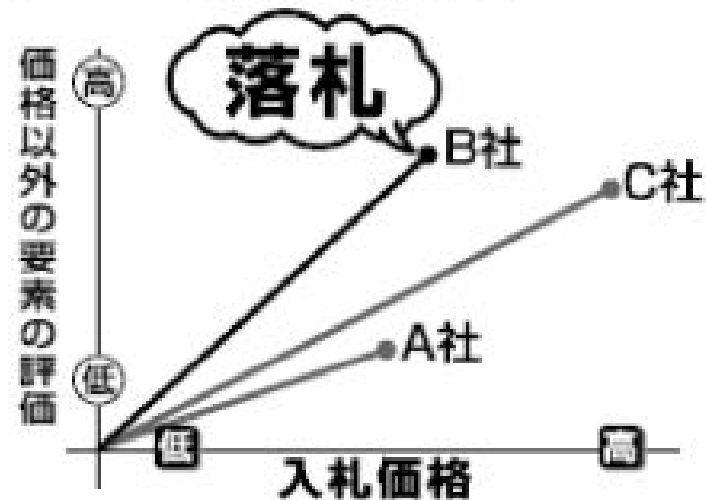


これまでの落札方式は「価格」のみの競争

最も安い
入札価格を
提案した業者

=落札業者

新しい総合評価



総合評価落札方式は「価格以外の要素(技術力)」も加えた総合的な評価による競争

最も高い
総合評価を
提案した業者

=落札業者

3-3 技術的能力の審査

以下の項目について、技術的能力の審査を行う。審査の結果、審査基準（入札参加要件）を満たしていない場合には、当該企業の競争参加資格を認めない（指名競争入札においては非指名とする）。

審査項目		審査基準
施工計画 (※1)	工程管理に係わる技術的所見	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の手順が適切であること ・各工程の工期が適切であること
	材料の品質管理に係わる技術的所見	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートや鋼材溶接部等の品質の確認方法、管理方法が適切であること
	施工上の課題に対する技術的所見	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者が指定した施工上の課題への対応が適切であること
	施工上配慮すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・施工上配慮すべき事項及び配慮方針が適切であること
企業の施工実績	同種・類似工事の施工実績 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が同種・類似工事の施工実績を有すること ・一定の工事成績評点に満たない実績は認めないこともできる。
	工事成績 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の工事成績評点の平均点が一定の点数を満たしていること
配置予定技術者の能力	同種・類似工事の施工経験 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者が同種・類似工事の施工実績を有すること ・一定の工事成績評点に満たない実績は認めないこともできる。
	工事成績 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者の工事成績評点の平均点が一定の点数を満たしていること

※1 施工計画については、少なくともいずれか一つの項目を審査する。

※2 同種・類似工事については、当該工事の特性を踏まえ、工事目的物の具体的な構造や規模等を適切に設定する。施工実績及び工事成績については、CORINS等のデータベース等を活用し、確認・審査する。

表 2-6 一般土木における評価点配分表

項目	説明	WTO標準型			標準Ⅰ型			標準Ⅱ型			標準Ⅲ型			
		(5.0倍以下)			(5.0倍未満)			(5.0倍未満)			(5.0倍未満)			
		高得点	評価点	必須・選択	高得点	高得点	必須・選択	高得点	評価点	必須・選択	高得点	評価点	必須・選択	
◎ 共通の留意事項	施工計画(備考)										15	15	◎ 1. 計画 2. 5% 3. 5% 4. 5%	
	情報提供(施工計画(備考))	施工計画(備考) 1/4							60(30)	◎				
		1/4以下(備考) 50%							60(30)	◎				
		1/4以下(備考) 100%							60(30)	◎				
		1/4以下(備考) 150%							60(30)	◎				
		1/4以下(備考) 200%							60(30)	◎				
	1/4以下(備考) 250%							60(30)	◎					
	1/4以下(備考) 300%							60(30)	◎					
	1/4以下(備考) 350%							60(30)	◎					
	1/4以下(備考) 400%							60(30)	◎					
1/4以下(備考) 450%							60(30)	◎						
1/4以下(備考) 500%							60(30)	◎						
◎ 共通の留意事項	現場に於ける施工管理										2	○		
	現場に於ける施工管理(備考)										2	○		
	現場に於ける施工管理(備考) 1/4				10→40	◎					10→10	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 1/2				20(20)	◎					20(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 3/4				30(20)	◎					30(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 100%				40(20)	◎					40(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 150%				50(20)	◎					50(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 200%				60(20)	◎					60(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 250%				70(20)	◎					70(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 300%				80(20)	◎					80(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 350%				90(20)	◎					90(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 400%				100(20)	◎					100(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 450%				110(20)	◎					110(20)	◎		
	現場に於ける施工管理(備考) 500%				120(20)	◎					120(20)	◎		
	◎ 共通の留意事項	現場に於ける安全管理										2	○	
現場に於ける安全管理(備考)											2	○		
現場に於ける安全管理(備考) 1/4					1	○					1	○		
現場に於ける安全管理(備考) 1/2					2	○					2	○		
現場に於ける安全管理(備考) 3/4					3	○					3	○		
現場に於ける安全管理(備考) 100%					4	○					4	○		
現場に於ける安全管理(備考) 150%					5	○					5	○		
◎ 共通の留意事項	現場に於ける環境対策										1	○		
	現場に於ける環境対策(備考)										1	○		
	現場に於ける環境対策(備考) 1/4				1	○					1	○		
◎ 共通の留意事項	現場に於ける品質管理										2	○		
	現場に於ける品質管理(備考)										2	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 1/4				2	○					2	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 1/2				4	○					4	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 3/4				6	○					6	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 100%				8	○					8	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 150%				10	○					10	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 200%				12	○					12	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 250%				14	○					14	○		
	現場に於ける品質管理(備考) 300%				16	○					16	○		
◎ 共通の留意事項	現場に於ける安全対策										1	○		
	現場に於ける安全対策(備考)										1	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 1/4				1	○					1	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 1/2				2	○					2	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 3/4				3	○					3	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 100%				4	○					4	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 150%				5	○					5	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 200%				6	○					6	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 250%				7	○					7	○		
	現場に於ける安全対策(備考) 300%				8	○					8	○		
◎ 共通の留意事項	現場に於ける衛生対策										1	○		
	現場に於ける衛生対策(備考)										1	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 1/4				1	○					1	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 1/2				2	○					2	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 3/4				3	○					3	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 100%				4	○					4	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 150%				5	○					5	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 200%				6	○					6	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 250%				7	○					7	○		
	現場に於ける衛生対策(備考) 300%				8	○					8	○		

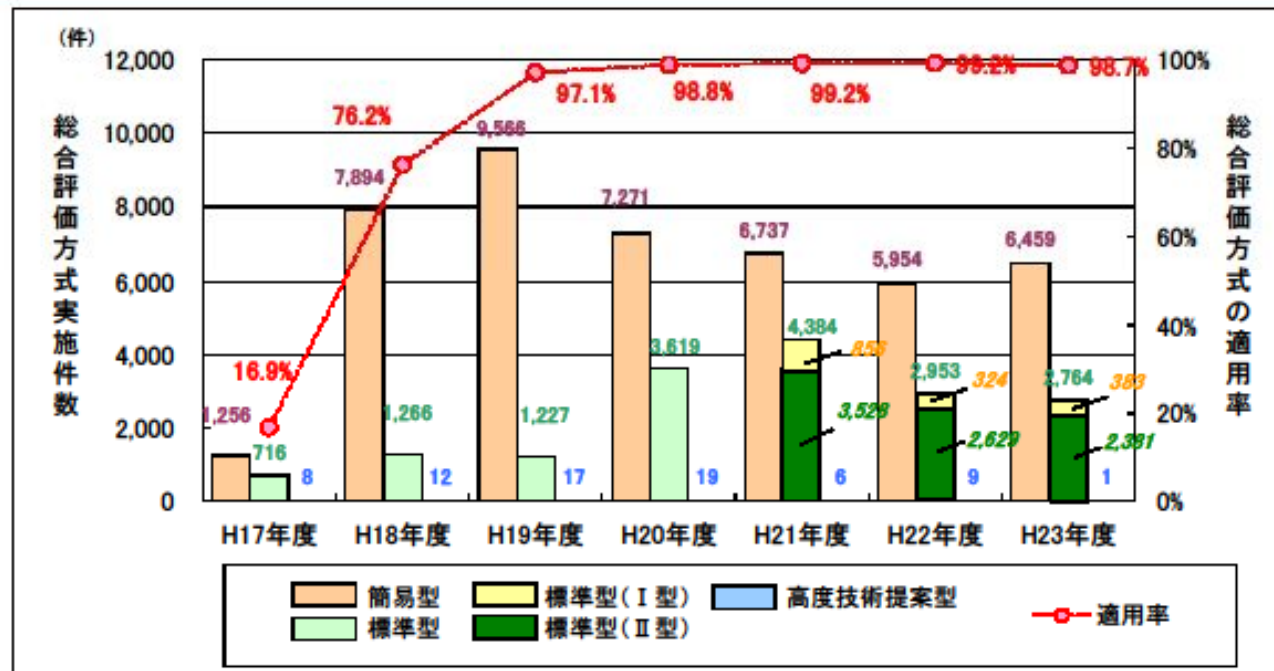
国土交通省総合評価ガイドラインより転載

※1にアテンド結果を施工費に含める評価とする
※2施工工費を考慮しない評価とする
※3施工工費を考慮しない評価とする
※4施工工費を考慮しない評価とする

◎ 必須項目 ○ 選択項目

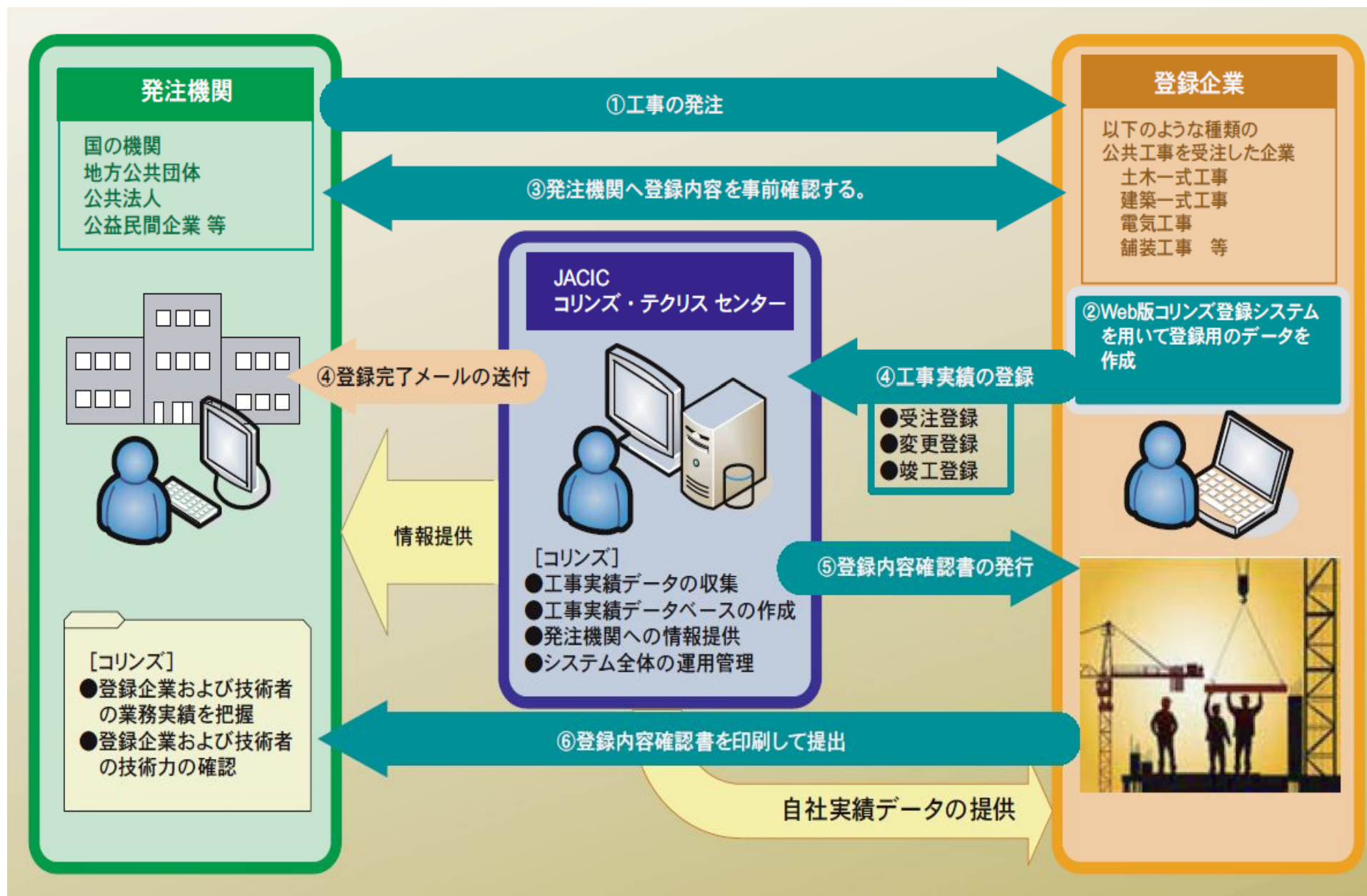
①普及・拡大の状況（実施件数）

- 平成23年度において、総合評価方式の適用率は件数ベースで98.7%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成23年度において、タイプ別で最も多いのは簡易型の6,459件（全体に占める割合70.0%）で、最も少ないのは高度技術提案型の1件である。



注1) 8地方整備局の工事を対象。
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価方式実施件数の割合。

コリンズ・テクリスの基本的な枠組み



3. コリズ・テクリスの背景と経緯

対象とする工事・業務実績の拡大

- H.05.12 「公共工事に関する入札・契約制度の改革について」
(中央建設業審議会の建議)
- H.06.10 コリズ(工事实績)の活用開始 請負金額5,000万円以上 FD登録
- H.08.04 テクリス(業務実績)の活用開始 請負金額 500万円以上 FD登録
- H.09.04 コリズ登録範囲拡大 請負金額2,500万円以上
- H.14.10 コリズ登録範囲拡大 請負範囲 500万円以上
- H.16.04 登録料金の値下げ(実質的に約30%)
受注時(5000円)、変更時(3000円)、竣工・完了時(5000円)とその都度の料金設定。
これを変更の回数に拘わらず、一括して1件9030円という料金設定とした。
・検索利用料金値下げ
市町村へ普及拡大(市町村の検索料 年間42,000円を10,500円等)
- H.16.08 FD登録から、インターネット回線を使った登録へ
(クライアントサーバ方式)
- H.17.04 技術者工事経歴検索システムの運用開始
- H.21.03 テクリス登録範囲拡大 請負金額 100万円以上
- H.21.08 Web版コリズ・テクリス登録システムのリリース
- H.22.02 Web版テクリス検索システムのリリース
- H.22.05 Web版コリズ検索システムのリリース
- H.23.04 登録料金及び検索利用料金の値下げ(利用者会議特別委員会審議を受け決定)
- H.23.06末 現行検索システムの並行利用終了
- H.23.08 新検索システムの7月改良版リリース
以後、発注機関、登録企業の要望を受けた改良の実施
- H.25.04 新登録システム関連機器リプレース

4. 提供するサービスとその変遷(1)

4-1 提供するサービス

サービスの対象	サービス内容
発注機関向けサービス	工事・業務の実績検索 建設実績技術者の検索 企業情報の検索 HPでの工事实績情報公開
登録企業向けサービス	自社の実績データの検索・ダウンロード 自社の企業情報の閲覧・管理 自社の建設実績技術者の閲覧・管理 登録代行サービス WEB登録のサポート(ヘルプデスク)
建設技術者向け	技術者実績確認書発行

4. 提供するサービスとその変遷(2)

4-2 入力・検索システムの機能向上(コリンズ)

平成6年 コリンズスタート

・コリンズ入力システム(ver.1.0) (FDによる登録、5000万円以上の竣工登録開始)

平成7年 コリンズ入力システム(ver.2.0)リリース (受注時及び途中変更時データ作成機能の追加)

平成8年 コリンズ入力システム(ver.3.0)リリース

(2,500万円以上の登録、途中変更年月日の登録開始により技術者の従事期間が表示可能となる)

平成9年6月 オンライン登録開始(専用電話回線)

平成12年10月コリンズ2000入力システム(ver.4.0)リリース

(入力項目の見直し、工種・法・型式の選択拡大、登録技術者数の拡大等)

平成14年10月 コリンズ入力システム(ver.5.0)リリース (500万円以上の受注登録)

平成16年8月 登録システムインターネット化

平成21年8月 新登録システムリリース(Webによる自社検索サービス開始)

平成22年5月 新検索システムリリース(Webによる検索サービスの平行利用)

平成23.06末 現行検索システムの並行利用終了

平成23.08 新検索システムの7月改良版リリース

以後、発注機関、登録企業の要望等を受けた改良の実施

4. 提供するサービスとその変遷(3)

4-3 入力・検索システムの機能向上(テクリス)

平成7年4月 テクリススタート(建設コンサルタント及び地質調査業務)

・テクリス入力システム(Ver1.0) (FDによる登録、500万円以上の完了登録開始)

平成7年11月 検索システム(直接提供) (Ver1.0) 試行開始

平成8年4月 全国の公共発注機関へ検索システム(検索提供・直接提供Ver1.1) サービス開始

平成8年9月 テクリス入力システム(Ver2.0) リリース(測量業務の追加)

平成9年4月 オンライン登録(専用電話回線)及び各種情報提供を開始

平成11年9月 テクリス入力システム(Ver3.0) リリース(技術者ID、会社固有情報追加)

平成11年11月 テクリス検索システム(直接提供) Ver3.0.1 リリース(技術者データを追加)

平成12年10月 評点付与システムの稼働開始

平成13年6月 テクリス入力システム Ver4.0 リリース(中央省庁再編対応)

平成16年8月 登録システムインターネット化

平成21年3月 100万円以上500万円未満業務登録の追加

平成21年8月 新登録システムリリース(Webによる自社検索サービス開始)

平成22年2月 新検索システムリリース(Webによる検索サービスの平行利用)

平成23.06末 現行検索システムの並行利用終了

平成23.08 新検索システムの7月改良版リリース

以後、発注機関、登録企業の要望等を受けた改良の実施

登録の概要

- 登録対象発注機関 国の機関
国土交通省、農水省等
地方公共団体
都道府県、市町村等
独立行政法人等
- 登録できる金額 コリンズ:500万円以上の工事
(制度発足当初は5000万円)
テクリス:100万円以上の業務
(制度発足当初は500万円)
- 登録の種類 受注(契約)時、変更時、
竣工時(完了)時

5. 登録件数とその変遷 (1)

5 - 1 現在のデータの登録要件と登録件数

登録要件

- コリンズ (工事实績) 500万円以上
- テクリス (建設コン・地質・測量・補償コン) 100万円以上

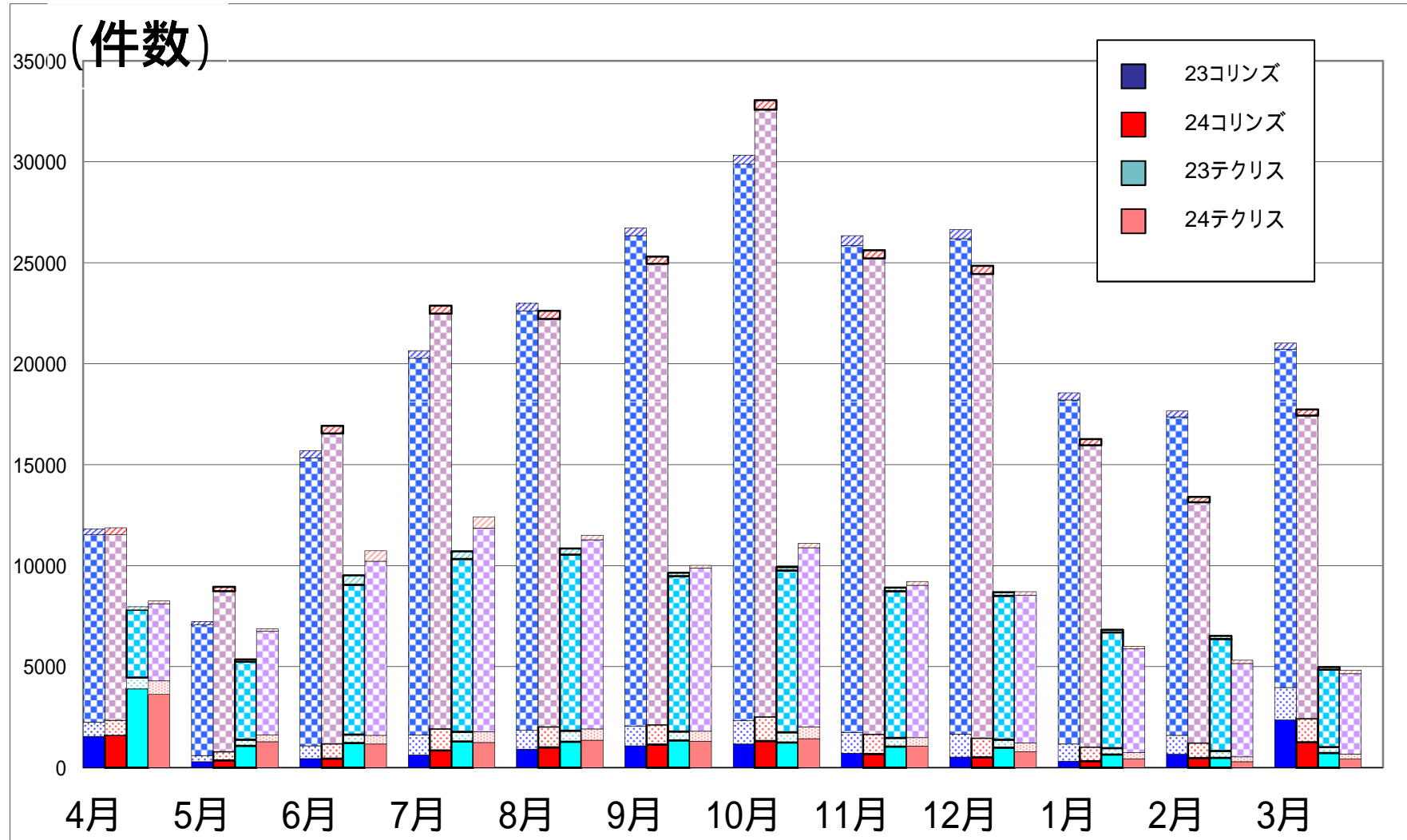
登録件数

- コリンズ 企業数累計 約14.1万社
- 竣工登録工事件数累計 約394万件
- テクリス 企業数累計 約1.3万社
- 完了登録業務件数累計 約125万件
- 技術者数(コリンズ・テクリス合計) 約159万人

コリンズ・テクリスのデータ収集項目

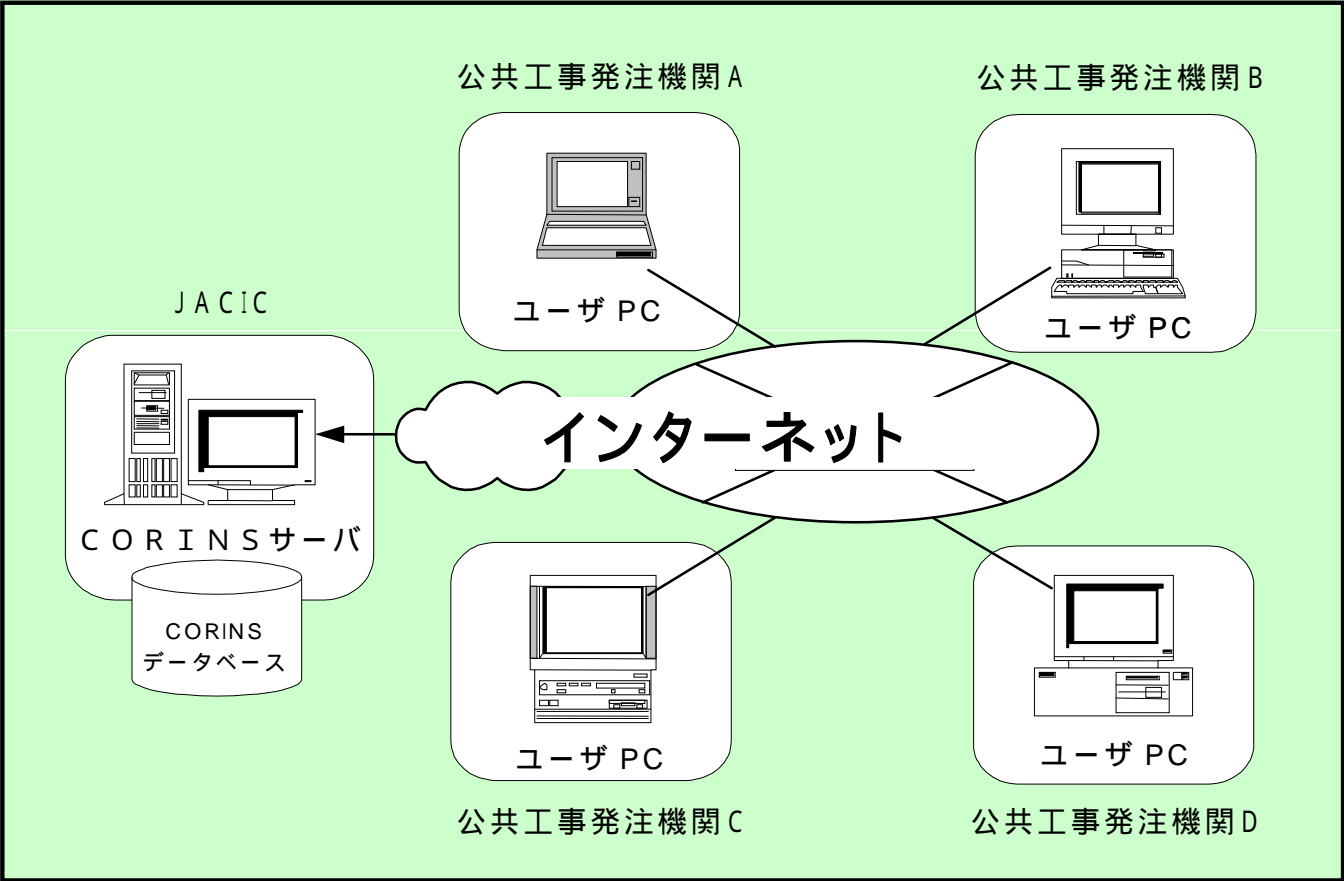
	コリンズ工事实績データ	テクリス業務実績データ
契約データ	変更事由発生日	
	自社が請け負った一体的先行契約工事のコリンズ登録番号	
	登録義務の有無 件名 対象水系・路線名 請負金額 工期 発注機関情報（発注機関名、実績内容確認日、担当者所属部署名・担当者氏名・担当者メールアドレス等） 設計書コード 契約形態 受注形態	
	PFI事業名称 契約特別事項（VE、ISO） 請負者（名称、建設業許可番号、事業所等） JVの構成請負企業	請負者情報（企業名、登録番号、事業所等） 主な業務の内容
工事（業務）データ	公共事業の分野 本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種 本件登録工事の入札参加資格区分 工種、工法・型式 施工場所等（起点、終点） 施工場所規制等（夜間工事の有無等） 交通規制（規制車線数） 近接施工 工事概要	業務分野・業務段階 業務対象地域（起点、終点等） 業務キーワード 業務概要
技術データ	工種ごとの詳細データ	業務分野ごとの詳細データ
技術者データ	役割、建設技術者ID、氏名、生年月日、従事期間、担当工事内容・業務内容	

コリンズテクリス登録件数



検索提供方式

検索提供方式は、公共工事・業務発注機関はクライアントとしてのパソコンを用意し、工事・業務実績の検索が必要な時に、インターネットを経由し、JACICに設置したデータベースを検索します。この方式は、県および政令指定都市などの内、管内ユーザ（出先機関など）の少ない機関が採用しています。導入費用が安価となります。



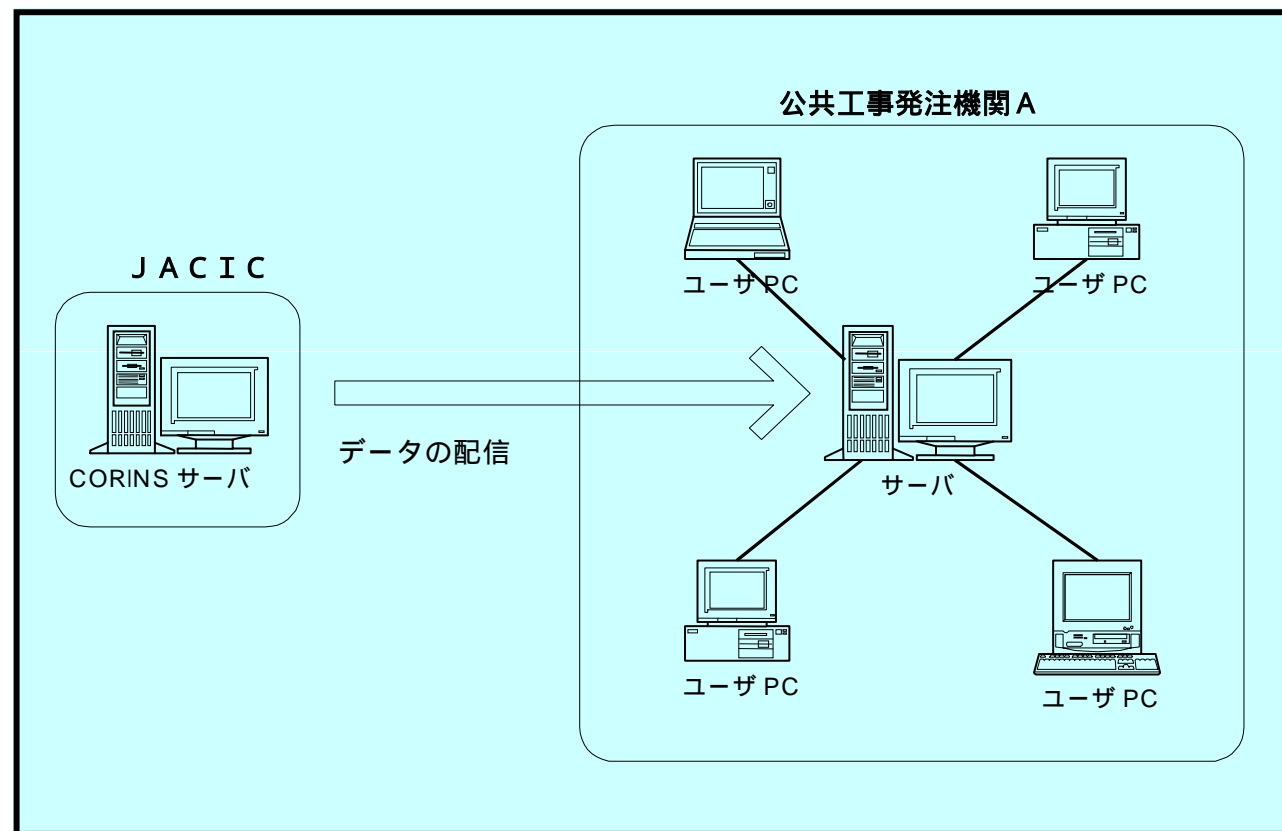
公共工事・業務発注機関への情報提供

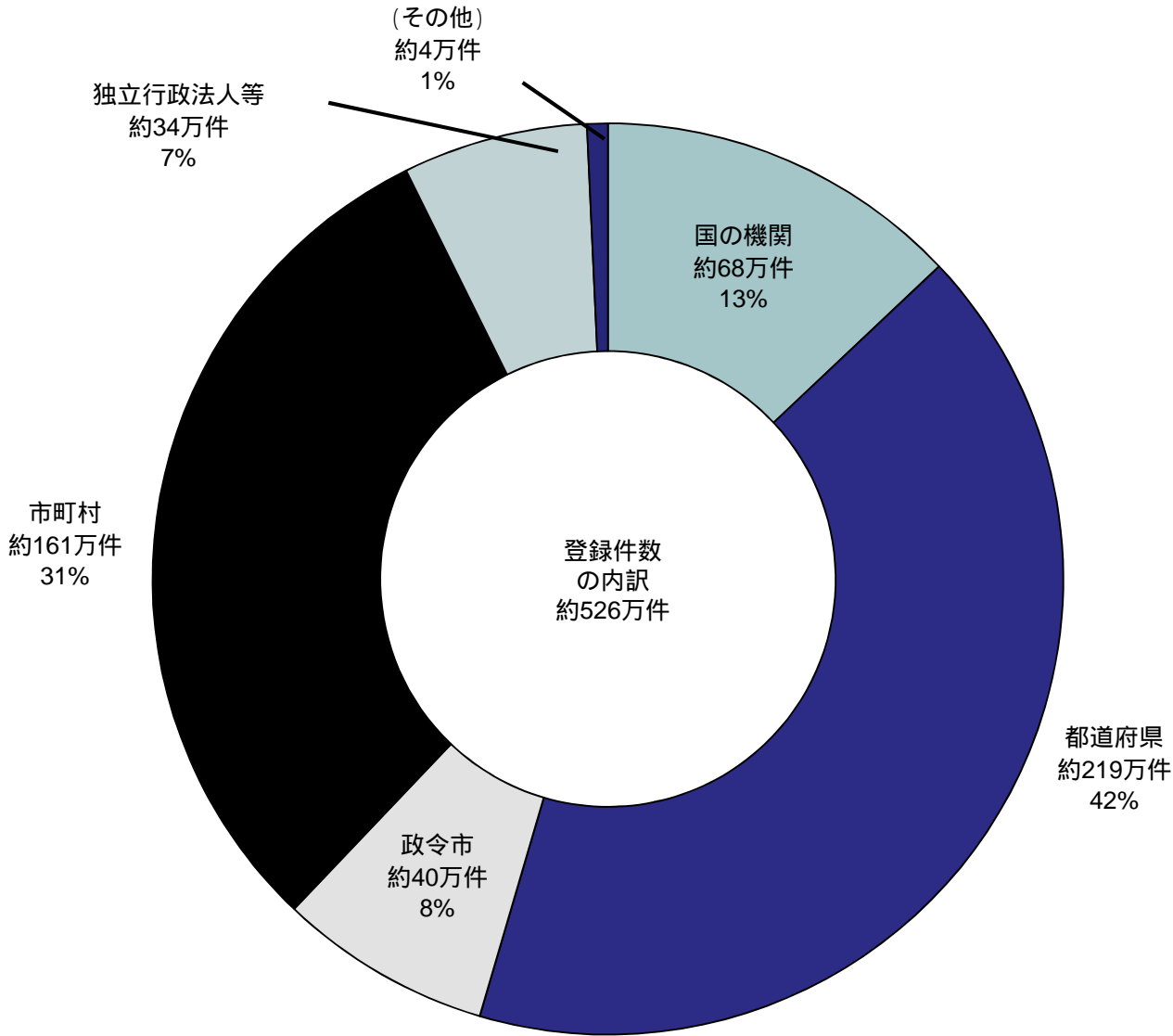
直接提供方式

公共工事・業務発注機関が利用している「コリンズ・テクリス検索システム」には、「直接提供方式」と「検索提供方式」の2方式があります。

直接提供方式は公共工事発注機関のサーバにコリンズ・テクリスのデータベースを構築する方法です。

JACICからはデータの配信のみを行います。この方式は、国土交通省など管内ユーザ（工事事務所など）の多い機関が採用しています。





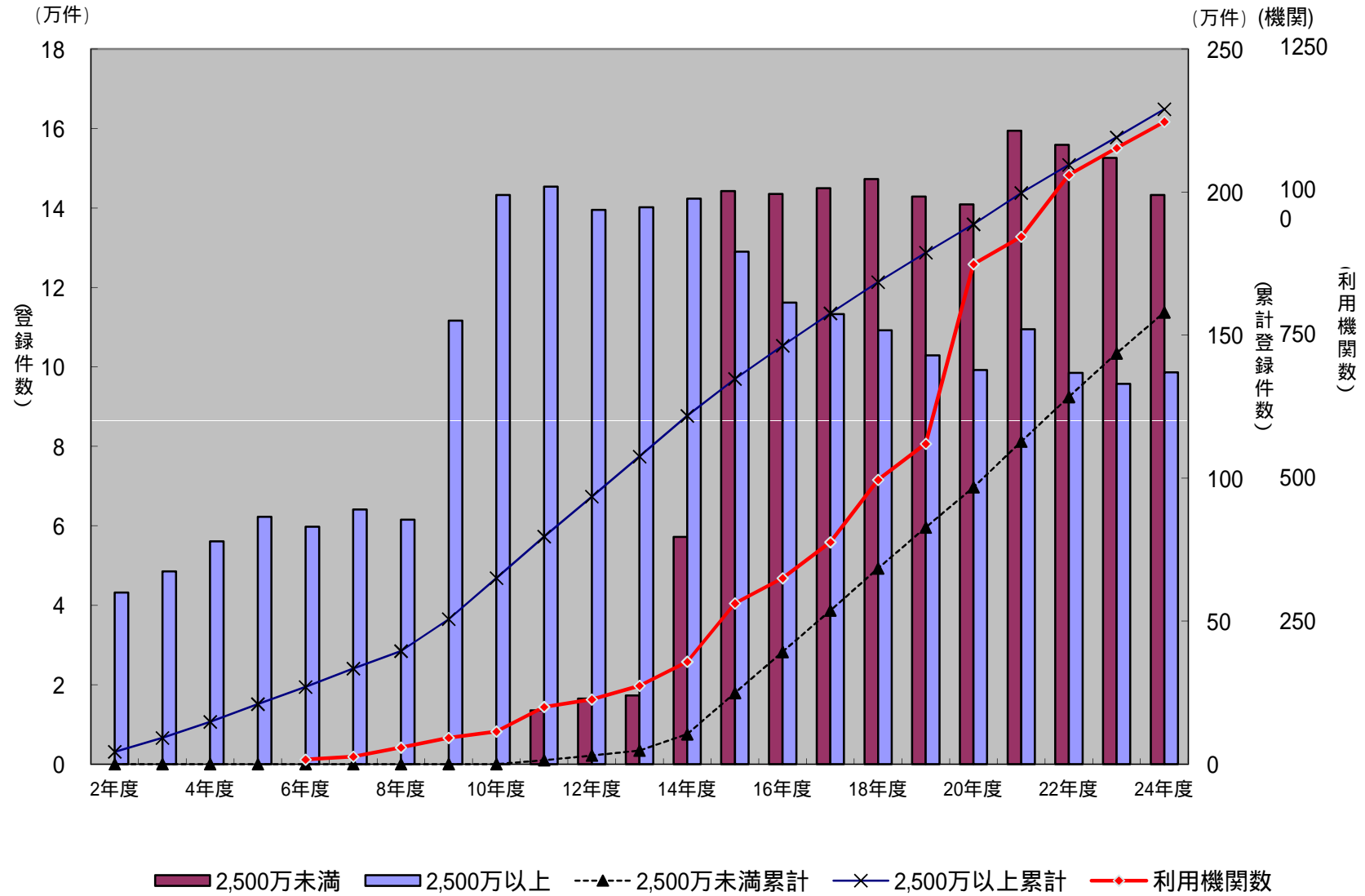
6. コリンズ・テクリスの検索利用機関数

(平成25年3月末)

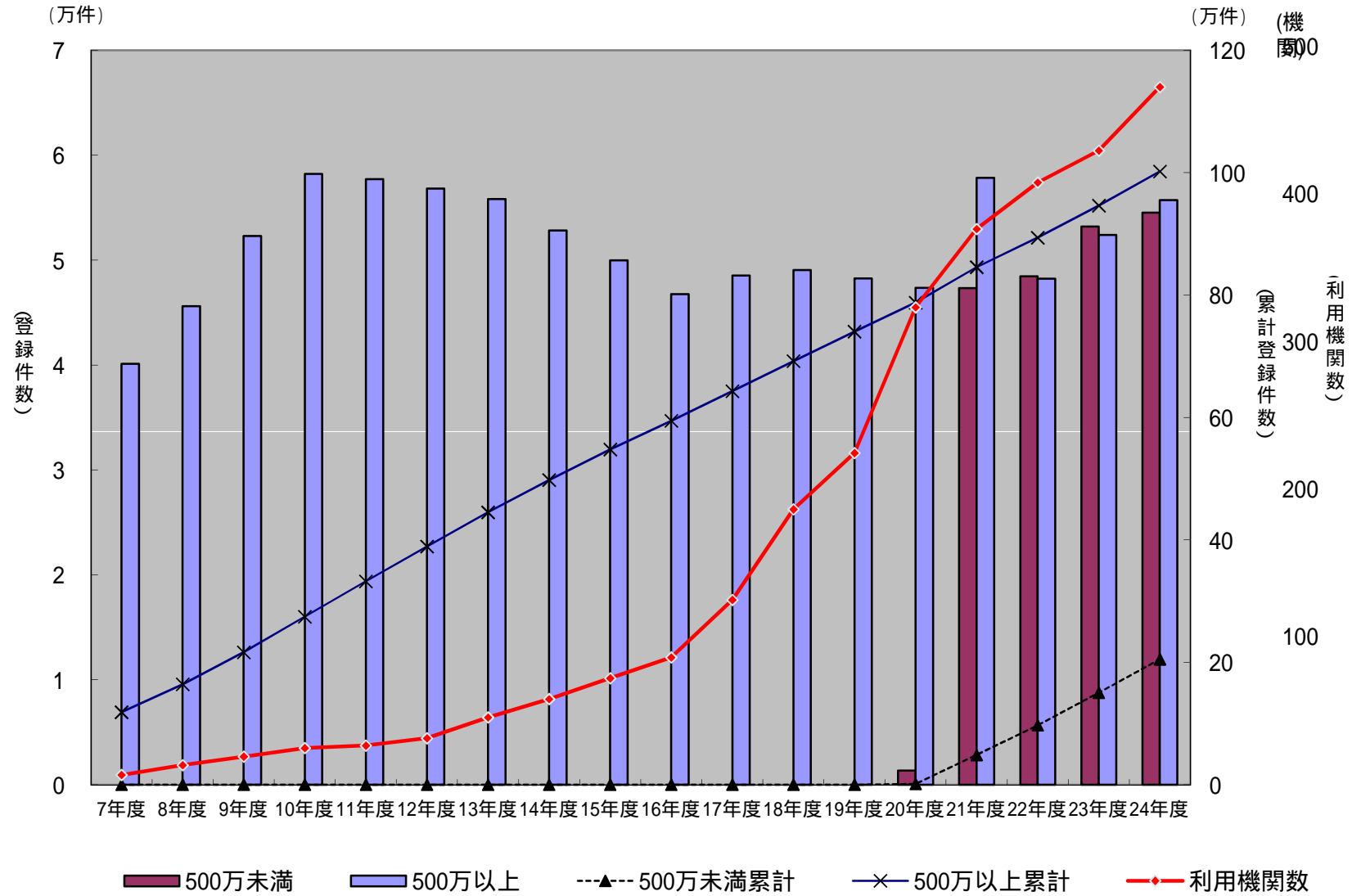
	コリンズ		テクリス	加入機関
国の機関	30	(5)	23	31
独立行政法人等	75	(3)	14	76
都道府県	58	(21)	45	47
政令市	21	(11)	16	20
市区町村	870	(184)	430	843
その他	70	(9)	43	75
合 計	1,124	(233)	571	1,092

1. 「コリンズ」欄のカッコ内の数は内書で、JCIS(発注者支援データベース・システム)の利用機関数である。
2. 「加入機関数」は、重複を除いた数である。

コリンズ登録件数の推移(平成25年3月末)

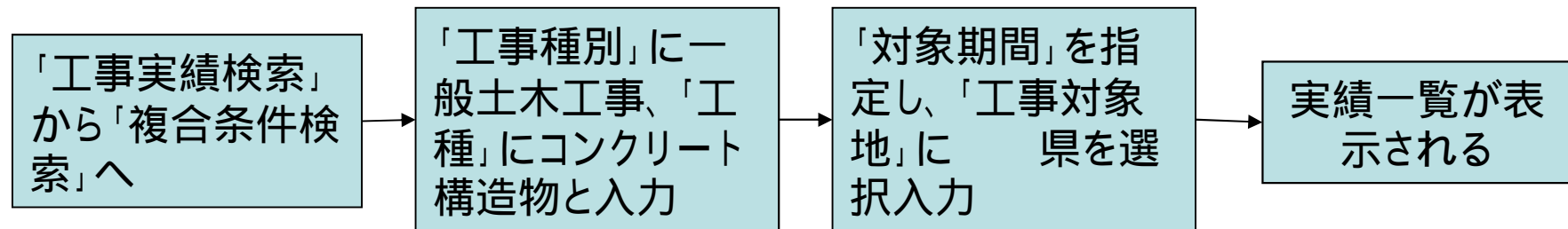


テクリス登録件数の推移(平成25年3月末)



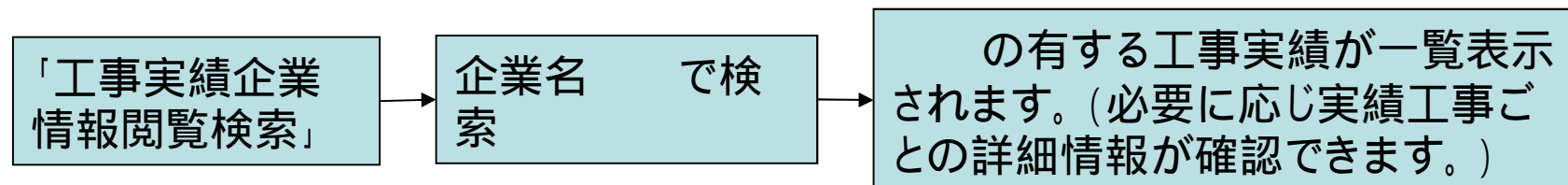
発注機関の検索活用事例 1

- 一定の条件を満たす工事实績を有する企業を検索する
 - 工事種別は一般土木工事、工種はコンクリート構造物で、年月～年月の間に、県での実績を有している企業をリストアップしたい



発注機関の検索活用事例2

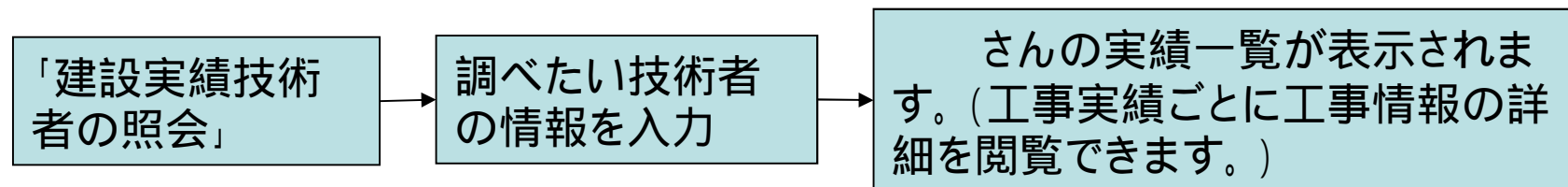
- ある企業の工事实績を検索し確認する
 - という企業から入札参加の申請があった。
当該企業がどのような工事实績を有しているかチェックしたい



発注機関の検索活用事例3

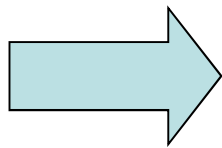
- ある技術者の過去に従事した工事实績や業務実績を確認する。

－ ある企業の予定配置技術者 さんの類似工事实績を確認したい。



今後の課題

- ICT技術の向上に対応したコリンズテクリスの改良
- 入札契約制度の変更に伴う改良・機能拡充
- PPIなどの他の情報システムとの連携
- 効率化によるサービス向上と料金低減



今後ともシステムの機能拡充と
サービス向上に努めます